

# 新年あけましておめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、4月に消費税増税と診療報酬改定があり、そして1年間選挙が続きました。1月の名護市長選から12月の衆院選まで選挙がおこなわれ、名護市長選、県知事選、衆院選といずれも新基地建設反対の候補者が当選しました。これ以上基地はいらないという、沖縄県民の民意を3度も全国・世界にアピールできたことは大きな前進でした。平和で豊かな沖縄県・日本をつくっていききたいものです。

さて、中部協同病院の医療活動は、昨年も着実に前進しました。医師研修では、初期研修医を3名迎えることができましたが、今後、後期研修医も迎える体制を作りたいと思います。

医療機器では、性能の向上したCT装置を設置し、新たに大腸CT検査ができるようになりました。今年、療養環境の改善と、診療報酬改定への対応ということで病棟の改修工事が行われます。通所リハや栄養管理室の移転なども必要で、例年になく大型投資になります。今年も昨年同様、地域の医療要求に応える医療活動をおこなっていききたいと思います。

中部地域には、医療生協のネットワークとして、高齢者住宅・美里ハウスや小規模多機能ホーム・石川にじの家がありますが、2014年には、社会福祉法人沖縄にじの会の特別養護老人ホーム建設が開始されました。2015年5月オープン予定です。これまで、医療生協内外のネットワークの形成・確保に努力してきましたが、これからも、地域の医療・介護施設との連携・交流を活発にしていきたいと思います。また、無料低額診療事業も継続して取り組み、経済理由から病院にかかれない人たちに役立てたいと思います。

今年、中部協同病院の課題は、①医療活動の発展に伴う職員の確保と育成②療養環境の改善と病棟改修③医療の質の改善④接遇の改善⑤在宅医療の強化などですが、職員一同元気ががんばっていききたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。



中部協同病院  
院長 与儀洋和

明けましておめでとうございます。中部協同病院をご利用いただいている組合員・地域住民の皆様と共に二〇一五年の新春を迎えられたことに感謝したいと思います。

さて、昨年は診療報酬改定が行われ、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化と連携、また在宅医療の充実などが鮮明に打ち出され、二〇二五年にむけての地域包括ケアの構築を目指した改定となりました。その対応として、中部協同病院では二階病棟に地域包括ケア病床五二床の届出と看護補助加算25:1を導入しました。さらに、今年療養環境の充実を図る為、二階病棟、三階病棟の改築も予定しております。

看護の面では、看護師一人一人が目標を持ち成長できるよう教育面を強化していきます。

昨年は、感染管理認定看護師が誕生しました。今年には皮膚・排泄ケア認定看護師、呼吸療法士、糖尿病療養指導士等の育成を考えています。

これからも、組合員・地域の住民から信頼され、職員が“定年まで、また、定年後も健康で働き続けられる職場づくり”をめざし職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします



総看護師長  
砂川淳子  
中部協同病院

# 謹賀新年

あけましておめでとうございます。

昨年は名護市長選を始め、多くの選挙が行われ職員及び組合員の皆様方の協力で数多くの選挙を勝利することができました。また、4月には診療報酬改定があり病院の経営に大きな影響を与えております。現在、中部協同病院では診療報酬改定に対応し、新たに新設された地域包括ケア病床の届出を行い、経営的には安定してきましたが病棟が狭く入院の患者様にご迷惑をお掛けしているのが実情です。今後、病棟の環境整備を行い地域、組合員の方々がより良い環境で医療、介護が受けられるよう努力していきたく思います。具体的には、通所リハビリ室を病院横の職員駐車場へ新築移転し、現在の通所リハビリ室に2階にある栄養管理室を移転します。その後、2階病棟と3階病棟を改修し1人当たりの居室面積を広くし環境改善を図ります。最終的には2階を72床3階を42床とし病院全体を綺麗にしていく予定です。工事期間中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力よろしくをお願いいたします。

今年も生協事業所、地域組合員さん、他の医療機関との連携を深め当院に求められる役割を果たしていきたく思います。

本年もどうぞよろしくをお願いいたします



中部協同病院  
事務長：嘉数 浩明

## クリスマスの宴

~Merry X'mas and Happy New Year~



2014年12月25日、3階病棟にととてもとても素敵なサプライズがありました。整形外科のダッチャー医師の心に響き渡る素晴らしい歌声とキーボードの生演奏の音楽会でした。

蘇州夜曲や故郷・芭蕉布・北国の春など、生の声とは思えないほど、艶やかな高音の伸びや声量に、患者さまや職員も心が豊かになる感動のプレゼントをいただきました。車椅子で傾聴していただいた患者さまも「生きる力になるね〜」と遠い故郷や兄弟を思い涙を流していました。何より、車椅子にも、乗ることが出来ない、寝たきりの患者さまの部屋に近い場所を選んでくださった先生の温かい心に感謝の気持ちでいっぱいです。心のこもった、生の音楽の素晴らしさを感じていただけたのではないかと思います。

この日の、ダッチャー医師は、いつもの凛々しい白衣姿とはちがい、素敵なドレスもとてもお似合いで、更に感動でした。

中部協同病院  
3階病棟師長 仲間 洋子



中部協同病院透析室は、2004年に開設し10年が経ちました。皆さまのご協力のもと12月で10周年を迎えることができました。

開設当初は、10床、2名の患者様でスタートし現在は、19床、50名の患者様がいます。午前、午後の送迎は、自宅近くまで送迎してくれるので患者様から喜ばれ透析治療を利用する患者様も増えています。主治医の斉藤保先生を筆頭に、たんぽぽからランタナ・ハイビスカスの花の様にもたとえられる看護師10名、現在の御三家とはいきすぎ？技士3名 計14名で地域の医療、介護、健康づくりをめざしつとめています。

中部協同病院  
透析室師長 伊佐ときみ

## 透析室部署紹介